



日本共産党 品川区議会議員 区政報告 のだて 稔史

事務所：品川区豊町6-2-1 TEL：03-3786-6674
区議控室：品川区広町2-1-36 TEL：03-5742-6818

区政報告について
ご意見、ご要望を
お寄せください。

品川区来年度予算案

住民追い出す再開発に65億円

今回は来年度予算案の前進面をお伝えしましたが、今回は変わらず住民を苦しめている超高層再開発の問題を取り上げます。

区民に語れない再開発

予算案が示される区議会第一回定例会では区長が施政方針を語りますが、「ウェルビーイング予算」38億円を打ち出す一方、68億円も投入する超高層再開発には一言も触れませんでした。区民に隠して進めたい区の考えが表れています。共産党は代表質問で一言も語らない理由を質問しました。区は「新規や拡充の事業を中心に選定しており、指摘とは異なるもの」

ウェルビーイングとは？

個人の権利や自己実現が保障され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあることを意味する概念。満足した生活を送っている状態、幸福な状態、充実した状態などの多面的な幸せを表す言葉。「持続的な」幸せを意味する。

再開発に関する予算案の項目

大崎駅西口F南地区再開発事業補助金	35億4846万円
東五反田二丁目第3地区再開発事業補助金	20億2376万円
小山三丁目第2地区再開発事業補助金 (武蔵小山商店街)	7億7760万円
品川浦周辺地区まちづくりビジョン策定支援業務委託	1140万円
大井町駅周辺地区等整備検討委託	978万円
西大井駅周辺地区整備検討委託	900万円
戸越五丁目19番地区再開発事業補助金	263万円

と答弁。そう言いながら区は、再開発の地域を広げようとしています。左表にも更に進めようとしている地域で検討やビジョン策定の予算が盛り込まれています。裏へ

のだて稔史プロフィール

1985年品川区生まれ、38歳。八潮北小、八潮中、都立雪谷高校、東洋大学工学部建築学科卒。建築設計事務所で6年間働く。2015年4月初当選。戸越5丁目在住。家族は両親と兄。ジブリ映画、バドミントン、テニスが好き。

住民から悲鳴が殺到

2月26日に行われた建設委員会には区内各地から再開発で追い出される等の住民の悲鳴のよな訴えがつつらられた陳情が11本も提出され審議されました。

大崎駅西口では「親が残してくれた住居に住み続けたい」「終の棲家とと思っている。どうして、追い出されるのか」。

武蔵小山では「先行した2棟は空き店舗がたくさん。住民を追い出す再開発の中止を」。

東五反田では「ガラス張りの業務棟でプライバシーを侵害する建築計画の見直しを」。

この現状はウェルビーイングとはかけ離れています。私は住民の立場で陳情に賛成しましたが、自民・公明らは丁寧な説明を求めながら陳情に反対し、住民の願いに背を向けました。

大原児童センターが半分に

品川区が大原児童センターの大規模改修を提案しました。

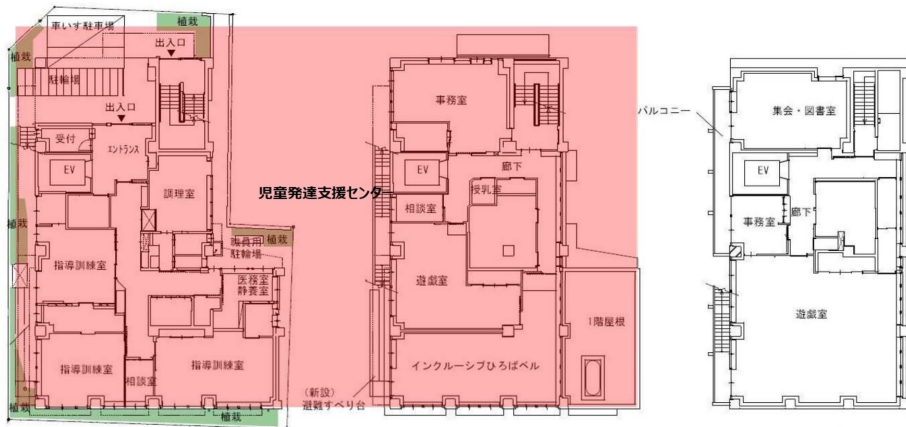
児童発達支援センターの設置に伴うもので、児童センターは3階のみで半分に狭くなってしまいます。

児童発達支援センターは障害児の発達を支援するもので関係者からも求められていたので増設されること

は喜ばしいことですが、児童センターが狭くなることは子どもたちの遊び場・居場所への影響が心配されます。

区は「インクルーシブな空間を創出し、幼少時から遊びを通じ交流する環境を整備し、児童センターと児童発達支援センターで一体的な運営を行う」と説明します。今年9月に着工し、来年9月に開設予定です。

皆様のご意見をお寄せ下さい。



1階 児童発達支援センター 2階 児童発達支援センター 3階 児童センター

◀1階と2階が児童発達支援センター。これまで2階と3階にあった児童センターは3階のみになります。1階にあった医療的ケア児の交流の場であるインクルーシブひろばベルは2階に移ります。

無料
法律相談

3月12日(火) 午後6時30分～8時30分

4月9日(火) 午後6時～8時

会場：のだて稔史事務所 豊町6-2-1

お気軽にご相談下さい。弁護士と一緒に話を伺います。
できるだけ事前にご連絡下さい。Tel 3786-6674



▲ニュースのバックナンバーはこちらから